

全日本内航船員の会は警察に届け出をいたしました

ある会社で計画していた「内航船の日」記念イベントに対し、匿名の抗議の文書等が届き、その結果、イベントを中止せざるを得ない事態となりました。

全日本内航船員の会とは全く関係なく企画されたイベントですので、当初、その事情はわかりませんでした。匿名の文書の中に「全日本内航船員の会」のことが書かれているという事実から、確認をすることとなり、文書に全日本内航船員の会の活動に関する全くの嘘の誹謗中傷が書かれていることが分かりました。

複数の匿名文書の内容から、これらが海運関係者による犯行である可能性が高く、せっかく陸の一般の方からいただいた記念日に対して、このようなことがあったことは本当に残念でなりません。

(一部抜粋)

今般「内航の日」が記念日として制定されたからと言って、外航関係者一切に対面の挨拶もなく、外航関係者をないがしろにして、一部の内航関係者がこのようなイベント開催を貴社に申し込み、貴社がこれを受諾されたことは、我々外航事業者にとり、非常に不愉快極まりなく、貴社に苦情方々強く抗議を申し入れざるを得ません。

偏った主張をもつ一部の者が、嘘の情報をつくってまで匿名の抗議を送りつけていました。イベント開催も社外から申し込まれたものではありませんでした。

6月25日、当会にある全ての情報を持って警察署に被害を届けました。

たいへん親身に対応していただいております。

船員不足問題が深刻な内航海運産業にとって、陸上社会へのPRと接点は非常に重要です。

記念日「内航船の日」を提唱してくれた方は陸の一般の人です。大事にしていきたいと思えます。

今後、このようなことが二度とないように、当会では警察の捜査に協力していきます。

文書の全公開も検討しています。